

第七回 福原徹演奏会

# 徹の笛

2015年11月30日(月)午後7時開演 紀尾井小ホール

●後援…公益財団法人 日本伝統文化振興財団

(有) 邦楽ジャーナル

(株) 邦楽の友社

早稲田大学坪内博士記念演劇博物館

●助成…公益財団法人 新日鉄住金文化財団

本日はお忙しい中ご来場いただき、誠にありがとうございます。

2009年、坪内逍遙生誕150年記念逍遙祭で、逍遙訳「ハムレット」の詞章を用いた笛と声（謡）による作品を発表、後に太棹や尺八を加えて早稲田大学や逍遙の故郷である岐阜県美濃加茂市などで再演する機会を得ました。シェイクスピアの作品、そして逍遙の言葉には、時代を越えて人を物語の世界へ引き込んでいく力強さを感じます。

そのハムレット公演の際、調子に乗って「四大悲劇を制覇したい」などと口を滑らせてしまったことを、時々思い出します。

昨年「ゴルトベルク変奏曲」に取り組んでいた頃から、ふとした拍子に「マクベス」が脳裏にぬっと立ち現われるようになり、今回また新たな試行錯誤を始めることとなりました。

無理な注文にもかかわらず真摯に作品と向きあってくれた共演者の皆さん、ご尽力くださったスタッフの皆さんに、感謝申し上げます。

濱口久仁子氏には逍遙訳の資料のことなどで、ハムレットに引き続き今回も大変お世話になりました。

また、御助成賜りました新日鉄住金文化財団はじめ、御後援いただきました各位に、この場をお借りして御礼申し上げます。

最後になりましたが、御来場いただきました皆様方に改めて御礼申し上げます。

本日はありがとうございました。

福原 徹

●  
PROGRAM

九世杵屋六左衛門 作曲  
福原徹 編曲

## 越後獅子

福原徹 作曲

## solo 04

【初演】

爽やかに

————— 休憩 —————

福原徹 作曲

## マクベス

～シェイクスピア作 坪内逍遙訳による～

出演 福原 徹 (邦楽囃子笛方)

小早川 修 (シテ方観世流能楽師)

都 了中 (一中節浄瑠璃方)

福原百之助 (邦楽囃子方)

# 越後獅子

1811年(文化8)中村座で初演された七変化「遅桜手爾葉七字」おそざくらてにはのななもじの一つ。数ある長唄の中でも、最も広く知られている曲であろう。地歌「越後獅子」はじめ当時の様々な曲を巧みに引用して長唄化しているとか、後にプッチーニが「蝶々夫人」に取り入れたとか、逸話も多い。

古典の曲を笛の独奏で——その旋律の美しさや古典の持つ味わいに笛だけでどこまで迫れるか、唄や三味線と合わせて吹く本来の古典演奏と新しい曲を作ることあいだの間を埋める試みでもある——これまで「ゆき」「黒髪」「もみぢ葉」「明の鐘」を取り上げたが、いずれもゆっくり、しっとりとした静かな曲であり、それをそのまま笛で吹いてきた。

今回は「越後獅子」。笛は部分的にしか入らないが、変化に富む曲である。

軽妙、哀愁、華やかさ。そして、これから何か面白いことが始まるというわくわく感。

## solo 04

笛のソロをたくさん作ることを目指し、2012年から始めたsoloシリーズ。二桁の目標にはまだ程遠いが、塵も積もれば…の心持ちで続けようと思う。

今回は篠笛独奏の小品を一つ。爽やかに。

# マクベス

スコットランドの勇猛な武将マクベスは、戦の帰り道で魔女たちと出会う。魔女たちは、グラミス領主マクベスがコードアの領主になること、さらにはスコットランドの王となることを予言する。その直後マクベスは、ダンカン王から戦勝の功績によりコードア領主に任命される。魔女の予言が当たり始めたことに驚き、マクベスは王位への野望を抱くようになる。

その経緯を知り、折しもダンカン王がマクベスの城を訪れることを聞いたマクベス夫人は、王を殺すことを企む。マクベスは逡巡するものの夫人に叱咤され、眠っている王を殺害する。が、その直後から後悔し、動揺する。

遂にマクベスは王位に就く。しかし武将バンコーが自分を疑っていると感じ、また王位をその子孫に奪われることを恐れ、刺客を雇い彼を殺す。

マクベス主催の盛大な晩餐会。その席にバンコーの亡霊が現れる。

不安を感じたマクベスは、再び魔女たちに会いに行き「バーナムの森が攻め寄せてこないうちは戦に負けることはない」という予言を聞く。マクベスは王位を守るため、さらに暴虐を重ねて行く。

罪の意識に苛まれたマクベス夫人は夢遊病となり命を落とす。暴君マクベスを倒さんと迫り来る大軍勢。兵士たちは木の枝を掲げて、姿を隠す作戦に出る。バーナムの森が動き出す…。

[福原 徹]



写真 大塚道治

## 福原 徹 (ふくはら・とおる/邦楽囃子笛方)

1961年東京生まれ。六世福原百之助(のちの四世宗家寶山左衛門・人間国宝)に入門、福原徹の名を許される。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。邦楽囃子笛方として、長唄・箏曲などの演奏会、日本舞踊、歌舞伎の舞台、放送、海外公演等で古典演奏活動を続けると共に、笛を中心とした作曲に取り組む。

2001年第1回演奏会「徹の笛」(津田ホール)を開催、平成13年度文化庁芸術祭大賞(音楽部門)を受賞。

2002~2003年、新作連続演奏会「徹の笛 in MUSICASA」を隔月で連続六回開催。2004年第2回、2006年第3回「徹の笛」(紀尾井ホール)を開催。

2012年よりリサイタルシリーズを再開、2012年第4回、2013年第5回、2014年第6回「徹の笛」(王子ホール)を開催。

東京藝術大学、有明教育芸術短期大学、清泉女子大学等の非常勤講師を歴任。NHK文化センター(青山、浜松、名古屋、柏、岐阜)講師。また、東京、浜松、彦根などで指導にあたり「百笛会」を主宰。長唄協会会員、創邦21同人。

著書：「やさしく学べる笛教本」(2003年)。

CD：1997年作品集「徹」

2007年コンサートライブ盤「徹の笛」

2009年二枚組の作品集「lift off」を発表。



写真 前島吉裕

## 小早川 修 (こばやかわ・おさむ/シテ方観世流能楽師)

シテ方観世流能楽師。社団法人観世会会員、準職分。社団法人能楽協会会員。社団法人日本能楽会会員。重要無形文化財総合指定保持者。

1961年小早川泰士(やすし)の孫として生まれる。祖父及び浅見真高(まさたか)に師事。1984年東京芸術大学音楽学部邦楽科能楽専攻卒業。1986年同大学院音楽研究科修士課程能楽専攻修了。

1968年「鞍馬天狗」花見で初舞台。1976年「小袖曾我」で初シテ。「乱」「石橋」「道成寺」「翁」「望月」「卒都婆小町」を披(ひらく)。

2011年以来、謡音読会を月1回開催。2011年5月東日本大震災チャリティ能共催。2012年中学校音楽教科書及び指導書(教育出版発行)の能楽を担当。

演能活動のほか、教員・学生・子ども向けの能のワークショップなど、能楽の普及にも努めている。



## 都了中 (みやこ・りょうちゅう/一中節浄瑠璃方)

1980年生まれ。幼少の頃より、日本の伝統音楽である一中節を父、及び先代都一中について稽古を始める。1997年都了中の名を許される。

声楽を芹沢文子、長唄を芳村金秀に師事。

2002年福井県武生国際音楽祭に招待をされる。2006年9月~2007年3月ACC(Asian Cultural Council)のフェロシッププログラムにてニューヨークに滞在し研修を行う。2009年より定期的に自身の演奏会「都了中の会」を主催。2015年国立劇場主催「明日をになう新進の舞踊・邦楽鑑賞会」出演。

国内外の演奏会、舞踊会に於いて浄瑠璃方を務め 講演、浄瑠璃指導、その他スタジオジブリ映画「千と千尋の神隠し」イメージアルバム(CD)に歌で参加など幅広い活動を精力的に行っている。CD「RYOCHU」発売中。



## 福原百之助 (ふくはら・ひゃくのすけ/邦楽囃子方)

1975年 常磐津文字蔵(一中節家元、都一中)の長男として東京に生まれる。

1991年 祖父である四世寶山左衛門(六代目福原百之助)に師事。同年、望月太喜雄に師事。長唄を東音浅見文子に師事。1993年 福原流笛方、福原徹に師事。

1994年 NHK学園高等学校を卒業。以後、福原流囃子方、福原賢太郎として演奏活動を行う。2006年 邦楽囃子福原流 福原百之助派家元 七代目福原百之助を襲名。邦楽演奏会・日本舞踊会の他にもワークショップやレクチャーコンサートなどの企画や公演を行い、日本の伝統芸能である邦楽の普及に努めている。

また、アメリカをはじめ、上海、ドイツ、オーストリアなど、海外での公演にも多数参加している。社団法人長唄協会会員。邦楽囃子「若獅子会」同人。

●主催：福原 徹 ●制作：日本伝統音楽振興会 黒河内 茂 ●舞台監督：清野正嗣 ●協力：加藤繁治 ●デザイン：長田 彰

次回のご案内

## 徹の笛 第八回福原徹演奏会

平成28年(2016年)11月30日(水) 東京文化会館 小ホール